

Title	安住院蔵『源氏物語』夕顔巻断簡校異一覽
Author(s)	松本, 大
Citation	詞林. 2022, 71, p. 1-12
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/87131">https://doi.org/10.18910/87131</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

# 安住院蔵『源氏物語』夕顔卷断簡校異一覽

松本 大

- ・以下に掲げる校異は、加藤洋介『河内本源氏物語校異集成』（風間書房、二〇〇一）と同様の作業を、安住院蔵本の残存部分を対象として行ったものである。
- ・夕顔卷の別本の校異については、加藤洋介「源氏物語校異集成（稿）」([http://www.w2kansai-u.ac.jp/ok\\_matsu/index.html](http://www.w2kansai-u.ac.jp/ok_matsu/index.html))にて、陽明文庫蔵本の校異データが公開されている。本稿は、これに安住院蔵本を加える形で、校異一覽を作成した。掲出方法や使用記号については、加藤氏の方針をそのまま踏襲した。ただし、両本の異同状況をよりの確に示すために、必要に応じて掲出を改めた箇所がある。
- ・安住院蔵本の略号は「安」とし、陽明文庫蔵本（略号「陽」）の後に示すこととした。
- ・安住院蔵本は、夕顔卷の五分の程度の本文を有する。安住院蔵本が残存していない部分の校異については、必然的に陽明文庫蔵本のみ掲出となるため、本稿ではこの部分を省略し、破線を付した。
- ・安住院蔵本の詳細については、拙稿「安住院蔵『源氏物語』夕顔卷断簡・東屋卷断簡の紹介―付、翻刻―」（中山一磨編『寺院文献資料学の新展開 4巻 安住院資料の調査と研究』、臨川書店、二〇二二近刊）を参照されたい。

## 夕顔 (陽・安)

- 01 01 01 まかて給ーまかんで給陽  
 01 01 01 大武のめのとのー大にのめのと安  
 01 01 02 いたくーいたう陽安  
 01 01 02 なりにけるーなりける安  
 01 01 02 五条なるー五条わたりなる陽  
 01 01 02 いゑーいゑに安  
 01 01 02 たつねておはしたりーたつねをはしたりければ安  
 01 01 03 いるへきーいる陽安  
 01 01 03 人してー人いれさせ給て陽ー人いれさせ安  
 01 01 03 これ光めさせてまたせーナシ安  
 01 01 04 給けるー給陽安  
 01 01 04 おほちのさまをーお、ちかなと陽ーおほちのさまか  
 　　なと安  
 01 01 04 みはたしーみわたし陽ーみわたさせ安  
 01 01 05 あたらしうしてーあたらしくして安  
 01 01 05 かみはー上は陽ーナシ安  
 01 01 05 はしとみ四五けむはかりあけわたしてー四五けんは  
 　　しとみあけわたしたり陽ーはしとみ四五けんはかり  
 　　あけわたして安  
 01 01 05 なともーなと安
- 01 01 05 しろうーしとけなく安  
 01 01 06 おかしきひたいつきものーおかしけなるひたいつきと  
 　　も陽ーをかしきひたいひとももの安  
 01 01 07 みえてーみて陽  
 01 01 07 しもつかたーしもつかたの安  
 01 01 07 おもひやるにーおもひやるそ陽ー思やらる、も安  
 01 01 08 心地そするー心ちすれと陽安  
 01 01 08 もの、ーすき物とももの陽  
 01 01 08 つとへるならむとーつとへるにかあらんと安  
 01 01 09 いたくーいという陽  
 01 01 09 かとはーかとはた、安  
 01 01 10 やうなるーやうなるをた、陽安  
 01 01 10 ほとなくーほとなう陽ーほともの安  
 01 01 11 ものはかなきー物、はかなき陽ーはかなき安  
 01 01 11 あはれにいつこかーあはれにいつこを陽ーあはれに  
 　　いつくを安  
 01 01 11 おもほしなせはーおほしなせは陽ーおほしなせと安  
 01 01 12 たつーたつ「つノ下るカ。るノ上カラつヲ書ク」安  
 01 01 12 あをやかなるかつらの心ちよけにーあをう心ちよけ  
 　　につたかつらとみえて陽ーあをく心ちよけなるかつ  
 　　らの安  
 01 01 13 はひか、れるにーはひかくれるに安  
 01 01 13 しろき花そーしろき花その安

01 01 | 14 ひとりこち給をーくちすさみ給を陽ーくちすさひに

の給を安

01 01 | 14 みすいしんー御すい身安

01 02 | 01 はなのなはー（はなの）名は陽ー名は安

01 02 | 01 かうーかく陽安

01 02 | 01 なんーのみなん安

01 02 | 01 さき侍けると申すーさき侍けると申陽ーさきはへる

ときこゆ安

01 02 | 01 いとこいゑかちにむつかしけなるーこいゑかちなる

陽ーこいゑかちなりけり「以下落丁」安

01 03 | 04 ものしたまへはーものし給へは陽ーものし給へれば

安

01 03 | 04 いとーナシ陽

01 03 | 04 くちをしうーくちをしく陽安

01 03 | 05 くらゐたかくーくらひたかう陽

01 03 | 05 などーナシ安

01 03 | 05 みなし給へーみなしたまゑ安

01 03 | 05 こゝのしなー九つのしな陽

01 03 | 05 さはりなくーさはりなくは安

01 03 | 05 むまれーうまれ陽ーのほり安

01 03 | 06 すこしーすこしも安

01 03 | 06 なむーなんと陽ーなん安

01 03 | 06 などーなど、陽

01 03 | 06 なみたくみてーなみたうけて安

01 03 | 07 めのとーめのとなど安

01 03 | 07 おもふへき人はー思人はまことに安

01 03 | 07 あさましうまをにーあさましく安

01 03 | 07 みなすものをーみなすお陽ーみなす物を安

01 03 | 08 おもた、しうーをもた、しく安

01 03 | 08 なつさひーなつさへ陽

01 03 | 08 つかうまつりけんーつかまつりけん安

01 03 | 08 いたはしうーいたはしく安

01 03 | 08 かたしけなくーかたしけなう陽ーナシ安

01 03 | 09 おもほゆーおほゆ陽安

01 03 | 09 なみたかちなりーなみたかち也陽ーなみたかちなめ

るを安

01 03 | 09 こともはーことんは陽

01 03 | 09 おもひてーみて陽ー思て安

01 03 | 10 よのさりかたきー事のありかたき陽

01 03 | 10 ひそみーひそみて安

01 03 | 10 つきしろひーしつきしろうひ陽ーつきしろい安

01 03 | 11 めくはすーめくらす陽

01 03 | 11 あはれとーあはれに安

01 03 | 11 おもほしてーおほして陽安

01 03 | 11 いはけなかりけるほどに思へきーいはけなき程とふ

へき陽

- 01 03 11 人くくの一人く安
- 01 03 12 人一人の陽一人は安
- 01 03 12 ある一ありし陽
- 01 03 13 したしくしたしう陽
- 01 03 13 すちは一かたは安
- 01 03 13 又なく一かたはらなく陽一たくひなく安
- 01 03 13 おもほえし一おほへしを陽一おほえし安
- 01 03 13 のちは一後陽一のち安
- 01 03 14 えみたて一へみたて陽
- 01 03 14 まうつる一まうへつる陽
- 01 04 01 ひさしう一ひさしく安
- 01 04 01 たいめむ一たいめん陽一たいめ安
- 01 04 01 心ほそく一心ほそ陽一心もとなく安
- 01 04 01 わかれ一わ△れ陽
- 01 04 02 なん一ナシ安
- 01 04 02 こまやかに一おほゆるとまめやかに陽
- 01 04 02 そてののほひもいと一御そてののをいいと、陽一御そてののほひも安
- 01 04 03 かほりみちたるに一みち給へり陽一みえたまへる安
- 01 04 03 よにおもへは一おもへは陽一思へはよに安
- 01 04 03 人の一人たに陽
- 01 04 04 あま君をもとかしとみつることもみなうちしほたれ

- けり一思ひつる事んうちしほたれぬ陽一あま君をもときつる人もみなうちしほれにけり安
- 01 04 04 又また一またく陽一み、安
- 01 04 05 事など一よしなどを安
- 01 04 05 をきてのたまはせて一おきての給はせて陽一いひをきて、安
- 01 04 05 いて給とて一いて給に陽
- 01 04 06 いと一ナシ陽安
- 01 04 06 しみふかう一しみふかく安
- 01 04 06 おかしう一ナシ安
- 01 04 07 すさみかきたり一すさひかきたりちいさくて陽一すさみかきたりつまにちゐさくて安
- 01 04 09 かきまきはしたるも一かきまきはしたるても陽安
- 01 04 09 ゆへつき一ゆへつけ陽一ゆえつき安
- 01 04 10 おほえ給一おほさる安
- 01 04 10 いゑは一こいゑは陽一いゑに安
- 01 04 10 なに人のすむそ一すむはたれそと安
- 01 04 11 うるさき御心とはおもへとも一うるさき御くせとおもへと陽一御こ、ろのくせのうるさきとは思へとも安
- 01 04 11 えさは申さて一さはへ申さて陽一さはえ申さねは安
- 01 04 11 こ、に侍れと一かくて侍れとも安

- 01 04 12 はうさの事をおもふ給へあつかひはへるほとにーひ  
やうしやの事をおもひ給へあつかい侍るほとに陽ー  
わつらふ人のあつかひに心のいとまも候はて安
- 01 04 12 事はーあんないも陽ーあないも安  
01 04 13 などーと陽ーなんと安  
01 04 13 きこゆれはー申せは安  
01 04 13 にくしとーにくう陽  
01 04 13 思たれなーおもひたなれ陽ー思たれ安  
01 04 14 このはたりのーこのわたりの陽ーこのわたり安  
01 04 14 心ーナシ安  
01 04 14 ものをめしてー物めして陽ー人に安  
01 05 01 いらてー入て陽ーナシ安  
01 05 01 このーこ、の陽安  
01 05 01 おのこをーおとこ陽ーのをこ安  
01 05 01 よひてーよひいたして安  
01 05 02 人のー物、陽ーもの、安  
01 05 02 る中にーる中へ安  
01 05 02 わかくーわかくて安  
01 05 03 きかよふと申ーまうてきかよふとなん申せと陽ーま  
うてきかよふとなん申て「ふとなんノ上カラふとな  
んヲ書ク」安  
01 05 03 しも人のー下人なれば安  
01 05 03 えしり侍らぬーえしり申侍へらぬ安
- 01 05 04 あらむとーなんと陽ーあらんと安  
01 05 04 きこゆさらはーきこゆれは安  
01 05 04 宮つかへ人な、りー宮つかへ人なり陽ーみやつかへ  
人の安  
01 05 04 したりかほにものなれていへるかなとーしりかほに  
ものなれてもいゑるかな陽ーしたりかほにものなれ  
ていへる安  
01 05 05 おほせとーおほしなから安  
01 05 05 さしてきこゑか、れるーきこゑか、る安  
01 05 05 心のー心も陽ーこ、ろも安  
01 05 06 れみのーなを陽ー猶安  
01 05 06 なめるかしーなるかし安  
01 05 07 いたうあらぬさまにーあらぬすちにいたう陽安  
01 05 07 かきかへ給てーかき返たまひて安  
01 05 08 よりてこそーおりてこそ陽ーをりてこそ安  
01 05 08 それかともみめーそれかともみめ安  
01 05 08 ほのくみつるーほのくみゆる安  
01 05 09 みすいしんーすいしん陽ー御すいしん安  
01 05 09 またみぬーまた（みぬ）陽  
01 05 09 御さま也けれとー御さまなりけれと陽ー御さまなれ  
とも安  
01 05 09 いとーナシ安  
01 05 09 しるくーしるう陽

- 01 05 | 10 給へるー給ける陽安  
 01 05 | 10 御そはめをー御そはめ安  
 01 05 | 10 みすくさてーえ見すくさて陽ーえみすくさて安  
 01 05 | 10 さしおとろかしけるをーをとろかしきこえたりつる  
     を「かしノ上カラかしヲ書ク」安  
 01 05 | 10 いらへたまはてー御いらへもなくて陽安  
 01 05 | 10 ほとへければーほとへつれば安  
 01 05 | 11 なまーナシ安  
 01 05 | 11 はしたなきにーはしたなき心ちしつるを安  
 01 05 | 11 わさとめかしければーわさとかましければ陽安  
 01 05 | 11 いひしろふへかめれとーいひしろうへかめり陽安  
 01 05 | 12 めさましとおもひてすいしんはーみすいしんめさま  
     しとおもひてやはら陽ーめさましと思て御す身は安  
 01 05 | 12 御さきのまつー御さき松も陽ー御さいまつも安  
 01 05 | 12 ほのかにてーほのかに陽  
 01 05 | 13 いとーナシ安  
 01 05 | 13 いて給ふはしとみはーいて給ぬかのしとみは陽ーい  
     てたまひぬかのしとみは安  
 01 05 | 13 ひま／＼よりーひま／＼に安  
 01 05 | 14 ほたるよりけにほのかにーほたるよりもほのかにて  
     陽ーほたるよりもけに安  
 01 05 | 14 所にはー所は陽安  
 01 05 | 14 などーなとも陽
- 01 06 | 01 なへての所になすーなへてならず陽安  
 01 06 | 01 のとかにーのとやかに陽ーナシ安  
 01 06 | 01 給へりー給ひて陽ー給て安  
 01 06 | 02 けしきことなるにーいとけしきことなるに安  
 01 06 | 02 かきねーかきねは陽  
 01 06 | 02 おもほしいてらるーおほしいつ陽安  
 01 06 | 02 へくもーへくは安  
 01 06 | 02 あらすかしーあらへすかへしかし陽ーあらねと安  
 01 06 | 03 つとめてーつとめても陽安  
 01 06 | 03 ねすくしーねすこし陽安  
 01 06 | 03 ほとにいてたまふーナシ陽  
 01 06 | 03 あさけのーあさあけの安  
 01 06 | 03 すかたはー御すかた陽安  
 01 06 | 04 めてきこえんもーめてきこえんも陽ーめてきこえん  
     に安  
 01 06 | 04 ことほりなるーことし「しカ」はりなる安  
 01 06 | 04 御さまなりけりー御ありさまなり陽安  
 01 06 | 04 このーかの安  
 01 06 | 05 し給ふー給陽安  
 01 06 | 05 きしかたもすき給けんーすきぬる方もありき給けん  
     安  
 01 06 | 05 わたりー道陽安  
 01 06 | 05 はかなきーはかなかりし陽安



- 01 11 08 なかやにわたりきつゝ、やにわたりつゝ、陽―なかや  
にわたりつゝ、安
- 01 11 09 ものとももの―物とも、陽―物とも安
- 01 11 09 はひわたる―はいりたる安
- 01 11 10 時はへかめる―おりくく侍へかんめり陽―をりはへ  
る安
- 01 11 10 かたちなむほのかなれと―かたちなんほのかに侍れ  
はにや陽―ほのかなつれはにやかたちなん安
- 01 11 11 わたる―まかる陽―すくる安
- 01 11 11 侍しを―侍りしかは陽―はへりしを安
- 01 11 11 わらはへの―わらはのなれたる陽安
- 01 11 11 いそきて―いそぎぞ安
- 01 11 12 わたり給ぬれ―わたらせ給へ陽―わたり給つれ安
- 01 11 12 あなかまと―あなかま陽―あなかま給へと安
- 01 11 13 いてみむとて―といひて陽―いてみんとて安
- 01 12 01 さかしう―さかしら陽
- 01 12 02 もの、そきのこゝろもさめぬめりき―物のそき心も  
うせぬへかめり陽―もの、そきの心もうせぬめり安
- 01 12 03 みすいしんととも―みすいしんととも、陽―御すい身  
とも、安
- 01 12 03 ありし―ありつ陽安
- 01 12 03 くれかかしと―くれかかしなど陽
- 01 12 03 かすえしは―かすへしは陽―かそへしは安
- 01 12 03 頭中將―とうの中將陽
- 01 12 03 すいしん―みすいしん陽―御すいしん安
- 01 12 04 その―ナシ陽安
- 01 12 04 するしにいひはへりし―いひ侍りし陽―するよし、  
はへりし安
- 01 12 04 なときこゆれは―とかたれば陽―と申せは安
- 01 12 05 くるまをそ―くるまを陽
- 01 40 06 給て―給にも陽安
- 01 40 07 さまのおもかけに―さま陽―さま思いてられて思か  
けさらず安
- 01 40 07 おほしいてらるれば―おほしいつ陽安
- 01 40 08 いくつにか―いくつはかりか陽―いくつはかりにか  
安
- 01 40 08 あやしく―あやしう陽
- 01 40 08 よの人に―よ人に陽―よ人にも安
- 01 40 08 あへかにみえ給しも―あえかみにえしも陽―あえか  
なりしも安
- 01 40 09 なかゝるましくて―なかゝるましようて陽
- 01 40 09 のたまふ―の給へは陽安
- 01 40 09 十九にやなり給けん―十九にや成り給けん陽―十九  
になんなり給にけん安
- 01 40 10 なくなりける―なくなり侍にける陽―なくなりは

へりにける安

01 40 | 10 すてをきてーすてをき陽安

01 40 | 10 三位の君のーこ三のきみの陽ー古三位の君の安

01 40 | 11 御あたりさらすー御わたりさけす陽

01 40 | 11 おもひたまへいつれはー思ひ給いつれは陽ー思給へ

いつれは安

01 40 | 11 いかてかよに侍らんすらんーいかてよに侍らんとす

らん陽ーいかてよにはへらんとすらん安

01 40 | 12 くやしくなんーなんくやしう陽

01 40 | 12 ものしたまいし人のーもの給し陽ーものし給し安

01 40 | 12 たのもしき人にてとしころーたのもし人にて陽

01 40 | 13 ならひ侍けるーならひ侍りにける安

01 40 | 13 はかなひたるこそはらうたけれかしこくーしかなら

へるこそ女はあはれなれあまり心かしこう陽ーしか  
ならへるこそ女はあはれなれあまり心かしこく安

01 42 | 13 おもひあはせはさりともしーおもは、陽ー思は、さり

とも安

01 42 | 13 つみーナシ安

01 42 | 13 おもふーおほす陽安

01 42 | 13 あひなかりけるーあはれ(いな)かりける陽ーあい

なかりける安

01 42 | 14 少将のー少将陽安

01 42 | 14 おりにみすれはーをりしのひてみていと陽安

01 42 | 14 かくおほしいてたるもさすかにてーさすかに陽

01 43 | 01 かことにてーかことにて陽

01 43 | 02 てはあしけなるをーてなどあしなから陽ーてはあや

しなから安

01 43 | 03 まきはしーかきまきはし安

01 43 | 03 されはみてーナシ陽安

01 43 | 03 かいたるーかきたる安

01 43 | 03 さましななしーさまもな、し陽ーさましな、し安

01 43 | 03 ほかけにみしかほーみしほかけはなを陽ーみしほか

けは猶安

01 43 | 03 おほしいてらるーおほしいてらる、陽ーおほしいて

られ給安

01 43 | 04 むかひゐたるーむかひいたらん陽ーむかひゐたらん

安

01 43 | 04 えうとみはつましきーえにくむましき陽ーえにくみ

はつましき安

01 43 | 05 心はせー心はせも陽

01 43 | 05 さうときほこりたりしよとーさうときてほこりかな

りしと陽ーさうときてほこりかなりしよと安

01 43 | 05 おほしいつるにーおほしいつるも安

01 43 | 06 なをーナシ陽安

01 43 | 06 あたなーあたなは陽安

- 01 43 06 たちぬへきーたち給ぬへき安  
 01 43 06 なめりーなり陽ーなりかし安  
 01 43 06 人のーナシ安  
 01 43 06 四十九日ー四十九日に安  
 01 43 06 しひてーナシ陽ーいとしのひて安  
 01 43 07 こそかすーよろつしのひたれとこそかす陽ーよ  
 ろつこそかす安  
 01 43 07 こまかにーナシ陽安  
 01 43 08 などーなどに陽安  
 01 43 08 給ぬー給陽  
 01 43 08 かさりまでー御かさりはまして陽  
 01 43 09 あさりーあざりは陽  
 01 43 09 たうときーたうとき「くノ上カラキヲ書ク」陽  
 01 43 09 になうーいとあはれに陽安  
 01 43 09 むつましくおほすーいとむつましうし給陽ーむつま  
 しょうおほす安  
 01 43 10 もんさうはかせーもんしやうはかせ陽ー文章はかせ  
 安  
 01 43 10 その人とーいとその人とは陽ーその人とは安  
 01 43 10 あはれとーあはれに陽  
 01 43 10 人のー女の安  
 01 43 11 はかなきさまになりたるをーはかなく成りにしを  
 陽ーはかなきさまになりけるを安  
 01 43 11 ゆつりきこゆるーたてまつる陽ーゆつりたてまつる  
 安  
 01 43 11 あはれけにーあはれに安  
 01 43 11 かきいて給へはーかきいて給つれば安  
 01 43 12 た、かくなからくはふへきーナシ陽  
 01 43 12 こと侍らさめりとーナシ陽ーことにもはへらすと安  
 01 43 12 申すしのひ給へと御涙もこほれてーナシ陽ー申すし  
 のひ給へと御なみたもこほれて安  
 01 43 13 いみしくーナシ陽ーいみしと安  
 01 43 13 おほしたれはーナシ陽  
 01 43 13 なに人ならむーなに人ならん陽ーなに人ならん安  
 01 43 13 その人とーその人といふ安  
 01 43 13 かうーかく陽安  
 01 43 14 なけかすーなけく陽安  
 01 43 14 なりけんーなりけん「るノ上カラキヲ書ク」陽  
 01 43 14 給へりけるー給「えり」ける陽ー給ける安  
 01 44 01 とりよせさせ給てーとりよせて陽安  
 01 44 02 したひもをーしたひほを陽  
 01 44 03 いたれのーいかなる陽  
 01 44 03 まてはーなどは安  
 01 44 03 いたれのーいかな「行末るアルカ」安  
 01 44 03 さたまりてーナシ陽安  
 01 44 03 をもむくーおもむく陽ーをもふく安

01 44 | 03 おもほしやりつゝ、おほしやりつゝ、陽安  
 01 44 | 04 ねんすをーねんす陽ー念す安  
 01 44 | 04 頭中將をーとうの中將を陽ー頭中將安  
 01 44 | 04 み給ふにもあいなくむねーみたまふにつけてもむね  
 のみ陽ーみ給につけてもむねのみ安  
 01 44 | 05 おひたつありさまーをひいてんありさまも陽ーを  
 い、つるありさまも安  
 01 44 | 05 きかせまほしけれとーきかせほしけれと安  
 01 44 | 05 かことにーかことを陽安  
 01 44 | 05 うちいてーえいひいて陽安  
 01 44 | 06 やとりにはーやとには陽ーやとは安  
 01 44 | 06 いつかたにと思まとへとそのまゝにーいつくにかと  
 おもへと陽ーいつ方にと思まとへとそのまゝに安  
 01 44 | 07 あやしと思なけきあへりーあさましうあやしと思ひ  
 た(あえ)り陽ーあさましうあやしと思あえり安  
 01 44 | 07 けはひをーけはひはかりをは安  
 01 44 | 08 かけはなれーナシ陽安  
 01 44 | 09 いひなしてーいひて陽安  
 01 44 | 09 ありきければーあるけは陽ーありけは安  
 01 44 | 09 いと、ーナシ陽ーいと安  
 01 44 | 09 もしーナシ陽  
 01 44 | 10 ことものーこ(へとも)などの陽ーこなどの安  
 01 44 | 10 頭の君にをちきこえてーナシ陽

01 44 | 10 やかてーとりて陽  
 01 44 | 10 いてくたりにけるーゐてかくしたる陽安  
 01 44 | 11 思よりけるーおもひける陽  
 01 44 | 11 このーかの陽安  
 01 44 | 11 めのとのーナシ陽  
 01 44 | 12 三人そのこはありてーナシ陽ーはらからとち三人そ  
 ありける安  
 01 44 | 12 御ありさまをきかせぬなりけりとー御ありさまもき  
 かせぬとぞ思ひて陽ー御ありさまもきかせぬとぞ安  
 01 44 | 13 なきこひけりーなきこひきこえける陽ーなきこひき  
 こえける安  
 01 44 | 13 右近はたーうこんは陽安  
 01 44 | 13 かしかましくーかしかましく陽  
 01 44 | 13 おもひてーおもふに陽ー思に安  
 01 44 | 14 いまさらにーいまさらこのこと陽ーいまさらにこの  
 事安  
 01 44 | 14 しのひーいみしうしのひ陽ーいみしくしのひ安  
 01 44 | 14 うへをーうゑを陽ーゆくゑを安  
 01 44 | 14 あさましうーあさましう陽  
 01 45 | 01 ゆめをーゆめに陽安  
 01 45 | 01 おほしわたるにーおほしなけく(わたるに)陽  
 01 45 | 01 このーナシ陽ーかの安  
 01 45 | 01 し給てーし給ひて陽ーし給ての安

- 01 45 | 02 またのよゝまたの夜陽
- 01 45 | 02 ほのかにーナシ安
- 01 45 | 02 院なからそひたりし女のさまもおなしやうにてーゐ  
んにていたる女もおなしさまに陽ー院のうちなから  
そひたりし女もありしさまに安
- 01 45 | 03 みえければー（みえけ）いたれば陽
- 01 45 | 03 あれたりしーあれたる陽安
- 01 45 | 03 みいれけんーみい（れ）けん「えノ上カラいヲ書ク」  
陽ーみいれける安
- 01 45 | 03 なりぬること、おほしいつるにもゆゝしくー成りに  
けるとおほすもいみしう陽ーなりにけるとおほほす  
もいみしくのみ安
- 01 45 | 04 いよのすけーいよのすけは安
- 01 45 | 04 神無月のついたちころにー八月つこもりにそ陽ー神  
な月のついたちころに安
- 01 45 | 05 くだるーくだりける陽安
- 01 45 | 05 女はうのー女房陽ー女房も安
- 01 45 | 05 くだらんにーくだるらん陽

（まつもと・おおき 関西大学）